

■【トピックス】
全原発停止！



5月5日に国内の全ての原子力発電所が停止しました。それまで原発が停止すると大変だという報道にもかかわらず、日本全国で普段通りの営みが送られています。今は大丈夫だが夏には停電だと、またいつています。本当でしょうか？

絶対安全な原発は事故を起こし、足りないはずの電力は足りています。公の信用が失われてしまいました。求められるのは徹底的な情報開示です。情報の隠ぺいはもう止めてほしいものですね。

■【ビジネス・アイ】
相続税の申告状況

- 社長 「まだ、被災地も大変だというのに、なかなか国会の議論が進まないね。消費税の増税だけでなく、もっと議論すべきことがあるような気がするよね」
- 花野 「そうですね。まだまだ復興も緒についたばかりですから、政府にはそちらに目を向けてほしいですね」
- 社長 「ところで、相続税の増税はどうなったの？」
- 花野 「現在、議論している社会保障と税の一体改革における税制抜本改革の一環に含められました。早くも平成27年以後の実施の予定です」
- 社長 「そうすると、しばらくは現在の制度で相続税対策を検討すればいいね」
- 花野 「そういうことになります。最近、国税庁から公表された相続税の申告状況によると、相続税の課税割合は4.2%と前年を0.1%上回っています」
- 社長 「課税割合が増えているんだ！大震災は、去年だから関係ないよね。原因は何なの？」
- 花野 「平成22年税制改正による小規模宅地の特例の適用対象範囲の縮小が影響しているようですね」
- 社長 「それって実質的な増税だよな」
- 花野 「そうなんです。最近はお話した消費税の95%ルールといい、制度の手直しによる実質的な増税が増えていますね」
- 社長 「マスコミとかで取り上げられないと気がつかないね」

■【今月のキーワード】
相続税の課税割合

相続税の課税割合は、その年の死亡者数を分母にして、その死亡者のうち相続税の課税対象となった被相続人で割った比率です。

平成22年は、119万7012人の方が亡くなり、そのうち課税対象になった被相続人は、4万9733人です。人数ベースでは、平成13年からの過去10年で最高的人数になっていますが、1人当たりの課税価格は前の年より下がっています。

昨年の東日本大震災の影響は、来年公表される平成23年分に反映されます。

■【今月の1冊】

『石巻災害医療の全記録』

石井 正 著
講談社 ¥940

東日本大震災で最大の犠牲者を出した石巻市、当時、行政と医療機関は機能マヒしました。生き残った22万人の命が危機にさらされていました。

最大被災地の医療崩壊を救った医師がいます。その日まで平凡な外科医だった一人の人物が指揮官になり、震災以降7か月間、闘い続けました。その間、多くの命が救われました。そこには、真のリーダー・シップがありました。



■【編集後記】

最近、自宅で飼っているセキセイインコの写真を、毎日インターネットにアップしています。みなさんに可愛いとほめてもらっています。飼い主としてはうれしいですね。写真の方は、動き回るので苦労して撮影しています（汗）

『経営のセカンド・オピニオン』vol. 63（毎月1日発行）

●定価：2,400円/年 ●発行日：2012.6.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808

<http://homepage3.nifty.com/binspire/>